



メーカー管理用です。

TOTO

タンクユニット・ダイヤフラム部(交換手順)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

交換前作業

※交換前に下記①～④の作業を実施してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

① タンク内の水を流す

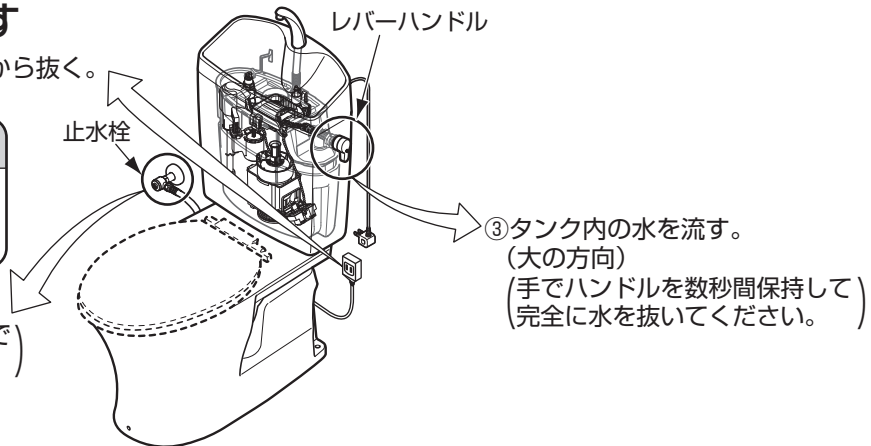
①ヒーター用プラグをコンセントから抜く。
(水抜き方式のみ)

⚠注意



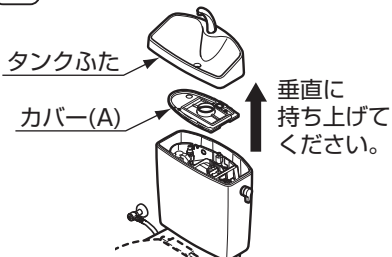
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

②止水栓を閉める。
(マイナスドライバーで
右に回す。)



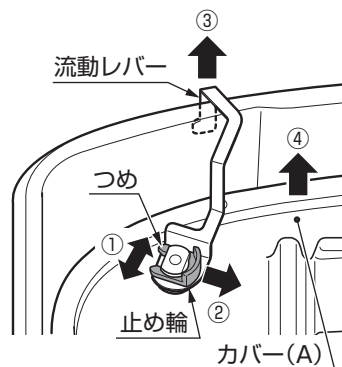
③タンク内の水を流す。
(大の方向)
(手でハンドルを数秒間保持して
完全に水を抜いてください。)

② タンクふたとカバー(A)を外す



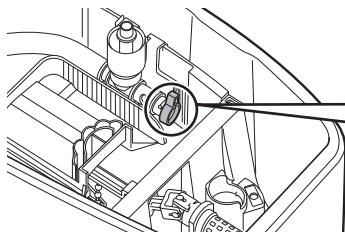
⚠注意

タンクふたは落とさない
ように注意する
必ず実行 破損してはがをするおそれがあります。

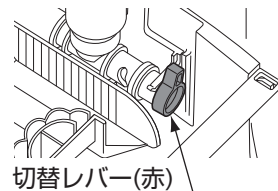


一般地の場合 水抜き方式の場合	カバー(A)を持ち上げてそのまま外します。
流動方式の場合	<p>※流動方式の場合は、流動レバーを外さないと、カバー(A)が外せないのであります。</p> <p>①止め輪のつめ部分を広げます。 ②止め輪をスライドさせ、外します。 ③流動レバーを外します。 ④カバー(A)を持ち上げて外します。</p>

③ 切替レバーの向きを確認する

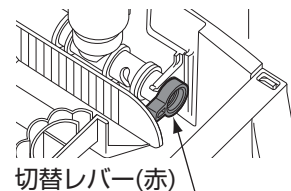


つまみが上向き(補給水なし)



切替レバー(赤)

つまみが前向き(補給水あり)

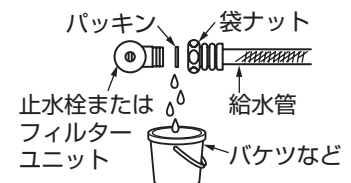
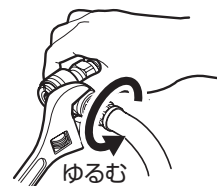


切替レバー(赤)

※部品の交換後に、切替レバーの向きを交換前の状態にあわせる必要があります。

④ 給水管を外す

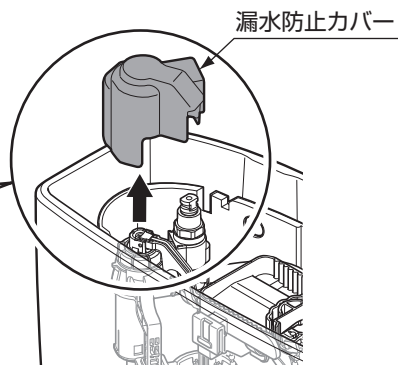
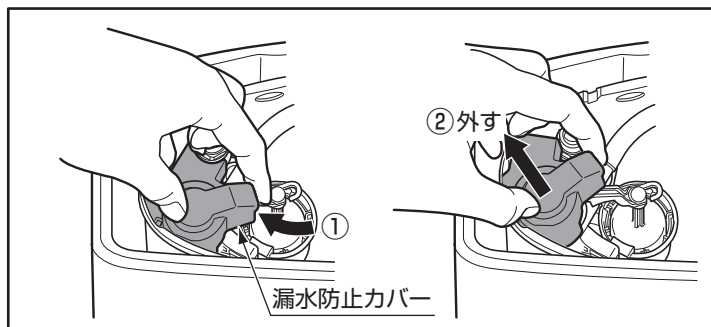
スパナで袋ナットを外し、給水管を外してください。
(給水管内の水が若干量流れ出しますので)
バケツなどの容器で受けてください。)



交換作業

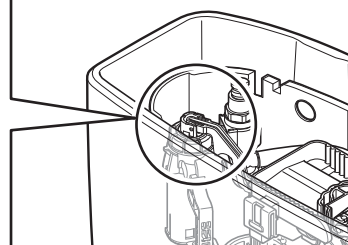
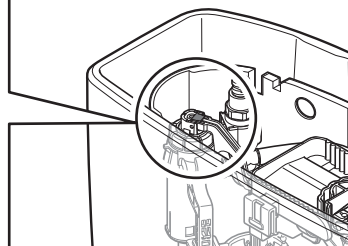
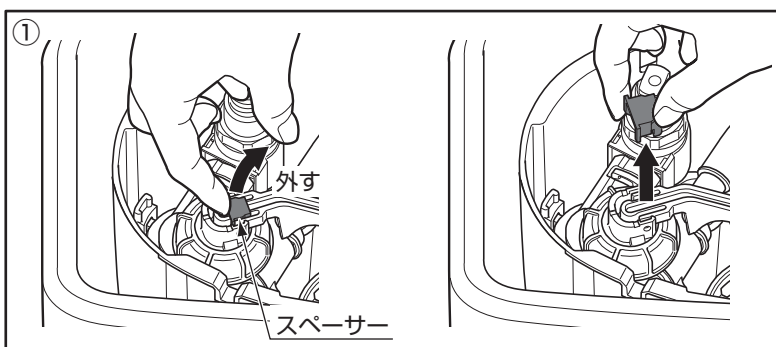
5 漏水防止カバーを取り外す

※図のように人差し指で引っ掛けてから持ち上げると比較的容易に外れます。

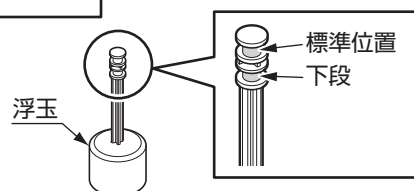


6 浮玉レバーを取り外す

① スペースを外して、浮玉レバーをつまんで取り外す。



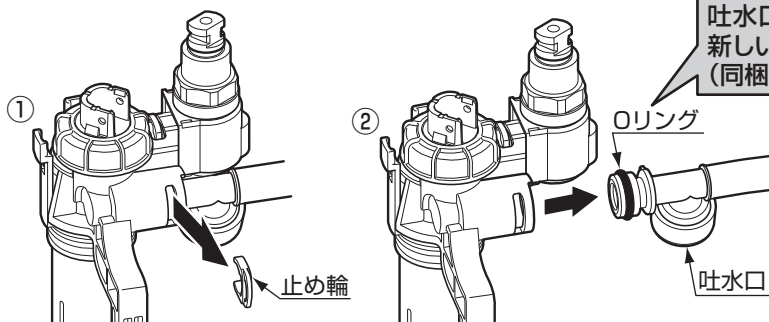
※浮玉取付位置を確認しておいてください。
取り付け時に同じ位置にセットする必要があります。
※代表例として、ピュアレストQR (SH232BA系) の図を使用しています。



7 ボールタップ本体と接続している吐水口を取り外す

① 止め輪を引き抜く。
※止め輪を落とさないように注意してください。

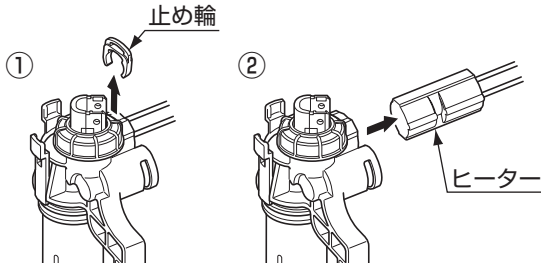
② 吐水口を取り外す。



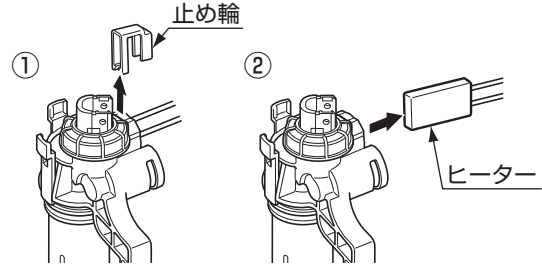
8 ヒーターを取り外す(ヒーター付きのみ)

- ① 止め輪を引き抜く。
 - ② ヒーターを引き抜く。
- ※ヒーターの本体を持って引き抜いてください。

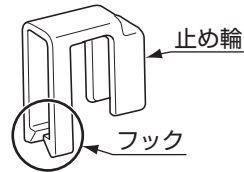
ヒーターの形状が円柱の場合



ヒーターの形状が板状の場合

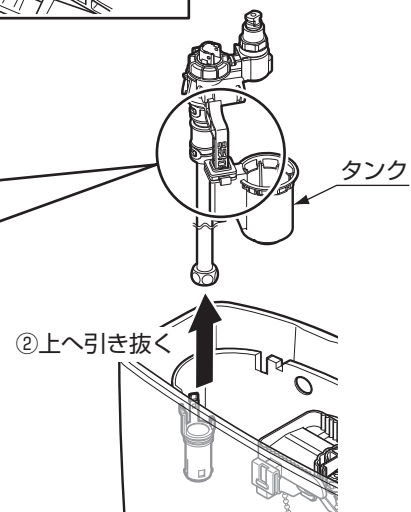
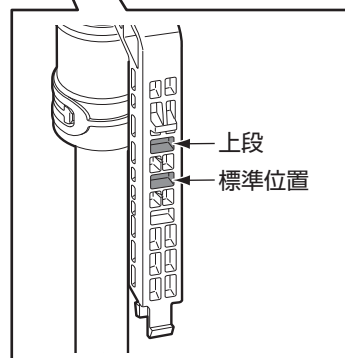
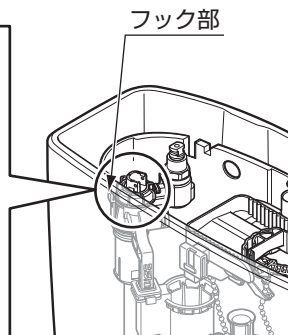
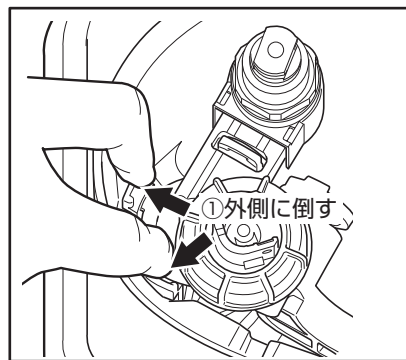


※止め輪を上
引っ張りながら
フックを外して
ください。



9 ボールタップを取り外す

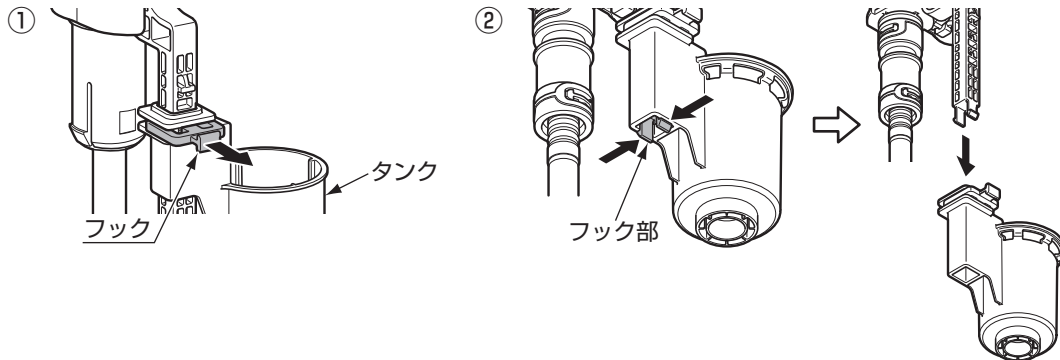
- ① ボールタップ固定具のフック部を外側に倒す。
 - ② ボールタップを引き抜く。
- ※ボールタップのタンク取付位置を確認しておいてください。



※代表例として、ピュアレストQR (SH232BA系) の図を使用しています。

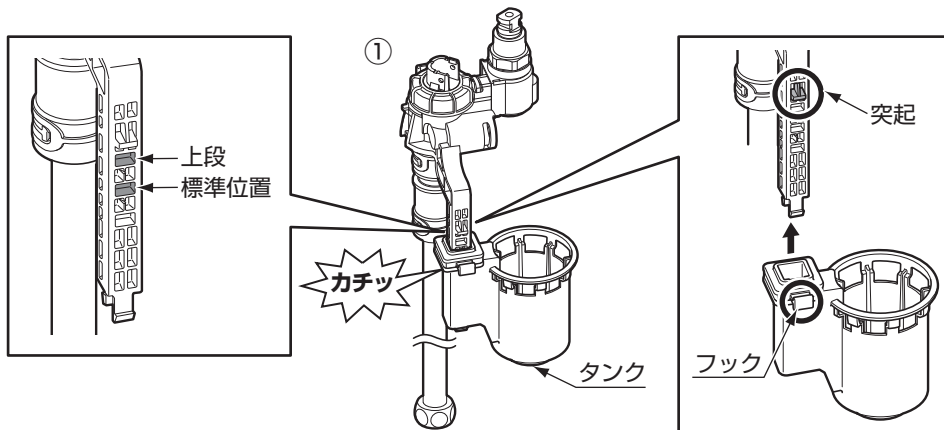
10 タンクを取り外す

- ① タンクの取付位置を確認し、フックを解除する。
※部品の交換後に取付位置をあわせる必要があります。
- ② ボールタップ本体のフック部を内側に押し込みながら、タンクを取り出す。



11 新しいタンクを取り付ける

- ① フックを解除した新しいタンクを差し込み、ボールタップのタンク取付位置を交換前にあわせ、フックをロックする。

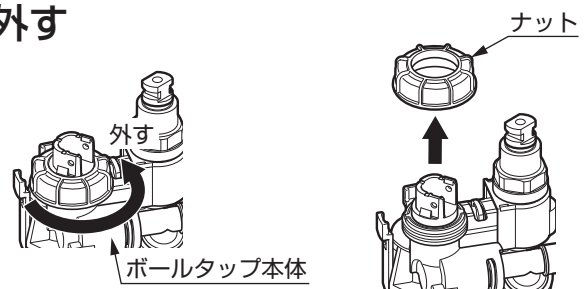


12 ボールタップ本体のナットを取り外す

⚠ 注意

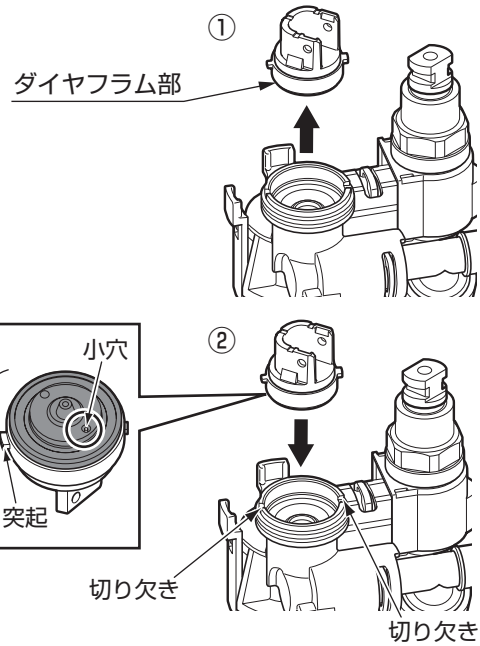
ナットを外す際は、必ず
ボールタップ本体を手で
支える

ボールタップ本体の固定部分が
破損するおそれがあります。



13 新しいダイヤフラム部に交換する

- ①ダイヤフラム部を取り出す。
- ②新しいダイヤフラム部の突起をボールタップ本体の切り欠きにあわせてセットする。
※ダイヤフラム部に傷やごみなどがいないか確認してください。



注意

クリーニングピン（針）がダイヤフラムの小穴を通っていることを確認する

クリーニングピン(針)

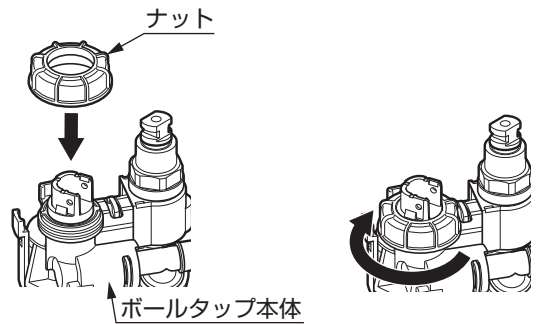
外れた場合

14 ボールタップ本体にナットを取り付ける

注意

ナットを取り付ける際は、必ずボールタップ本体を手で支える

ボールタップ本体の固定部分が破損するおそれがあります。



15 ボールタップを取り付ける

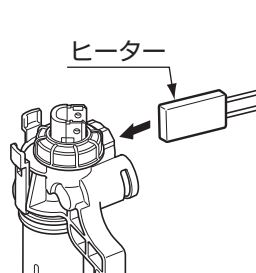
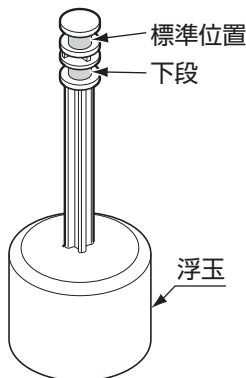
- ①⑤～⑨と逆の手順で取り付ける。
- ②浮玉を取り付けるときは、ボールタップの浮玉位置を交換前（⑥参照）にあわせる。

注意

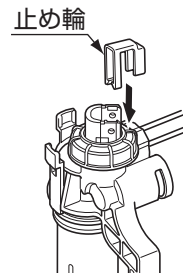
必ず実行

ボールタップに浮玉を取り付けたあと、浮玉レバー部の外れ、ズレおよび浮玉が外れていないか確認する

確実に接続されていないと止水不良の原因になります。



※ヒーターを取付時の向きはありません。

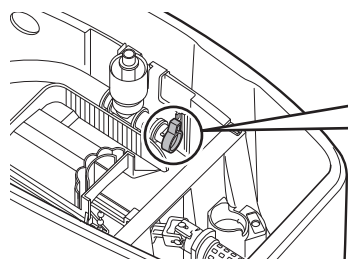


※止め輪はフックがかかるまで差し込んでください。

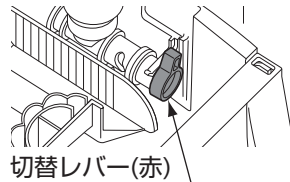
※漏水防止カバーを取り付ける際は、カバーを軽く押さえながら「カチッ」と音がするまで押し込んでください。（⑤参照）

交換後作業

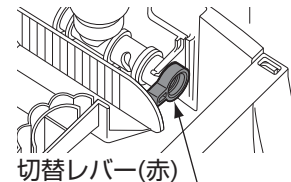
16 切替レバーの向きを確認し、交換前の状態にあわせる



つまみが上向き（補給水なし）



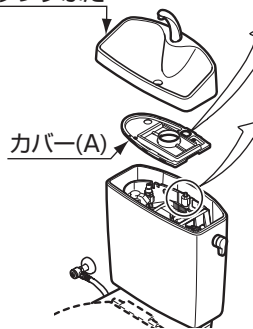
つまみが前向き（補給水あり）



17 カバー(A)とタンクふたを元に戻す

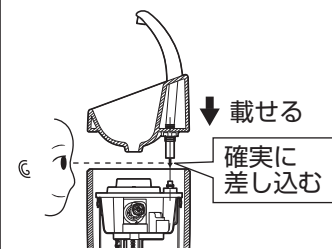
一般地／水抜き方式の場合

タンクふた



①カバー(A)を樹脂タンクにあわせて取り付け。

②タンクふたを取り付ける。



※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込み直してください。

⚠注意



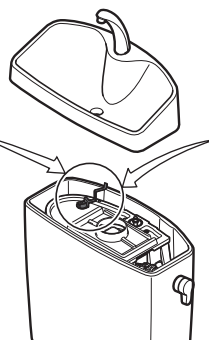
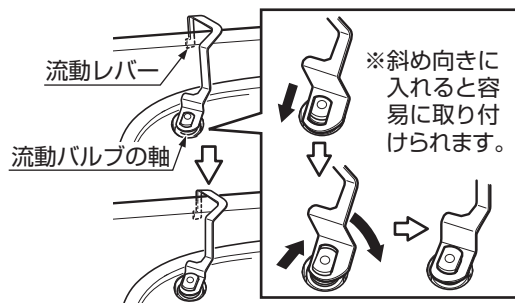
必ず実行

カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む
水漏れの原因になります。

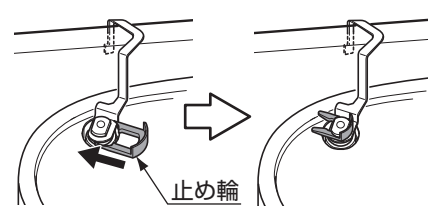
流動方式の場合

①カバー(A)を樹脂タンクにあわせて取り付け。

②流動バルブの軸に流動レバーを取り付ける。



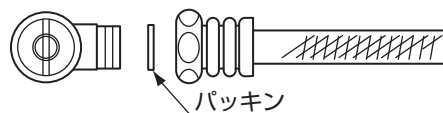
③止め輪をスライドさせ、固定する。



④タンクふたを取り付ける。

18 給水フレキホースと止水栓を接続する

- ・給水フレキホースにねじれ、折れなどのないよう接続する。
- ・パッキンを新しいものに交換し、右図の位置に必ず組み込む。



19 取り付け完了後の確認をする

- ・止水栓を開け、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
- ・水の出方が悪いときは、取扱説明書（お客様保管）“給水フィルター掃除”を参照して掃除を行う。
- ・凍結のおそれがある場合は、取扱説明書（お客様保管）の凍結予防方法に従って凍結予防を行う。